

砂防だより

NO.
150
2005.7.15



夏富士（朝霧高原）

静岡県支部通常総会	2
全国治水砂防協会総会	3
土砂災害防止月間活動	4
● 急傾斜地パトロールの協働実施	
● 「砂防フェスティバルしずおか」開催	
土砂災害防止法の一部改正	6
平成16年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所	8
インフォメーション	10
石碑を訪ねて	11
土木事務所企画担当者紹介・募集・お知らせ	12

特集 第60回全国治水砂防協会 静岡県支部総会

H17 土砂災害防止月間活動



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

静岡県支部通常総会を開催

5月30日に、全国治水砂防協会静岡県支部の平成17年度(第60回)通常総会を、静岡市内で開催しました。

総会では、支部長の石川嘉延県知事が議事に先立ち、「当県は全国でも土砂災害危険箇所が多く、関係者一丸となって対応に努めていかなくてはいけない」と砂防事業の重要性を訴えました。続いて、牧野国土交通省砂防部保全課長、大橋県議会議長、大久保全国治水砂防協会理事長、同協会理事の斉藤斗志二衆議院議員よりご祝辞をいただきました。

この後、議案の審議が行われ、平成16年度事業報告・収支決算報告、平成17年度事業計画(案)・収支予算(案)等が承認されました。続いて、役員の変更が行われ、新役員が承認されました。

総会終了後、牧野保全課長から「砂防の目指すもの」と題し講演をいただきました。



石川支部長の挨拶



斉藤理事の祝辞



牧野保全課長による講演

<平成17年度事業計画の概要>

- 1 砂防事業の周知・啓発・普及
国・県の実施する事業への協力
・「土砂災害防止推進の集い(全国大会)」への協力
会員による視察研修の実施
砂防関係担当職員に対する研修会の開催
・市町村等砂防担当職員研修会の開催
・土砂災害防止法研修会の開催
他機関の実施する講習会等への参加
- 2 砂防事業等促進要望の実施
- 3 「砂防だより」や砂防関係図書の発行
- 4 全国治水砂防協会等への協力

平成17年度 全国治水砂防協会 静岡県支部役員顔ぶれ

支部長



県知事
石川 嘉延

顧問



土木部長
古川 博一

副支部長



袋井市長
原田 英之



富士宮市長
小室 直義

会計監査役



河津町長
櫻井 恭次



森町長
村松 藤雄

委員



静岡市長
小嶋 善吉



浜松市長
北脇 保之



三島市長
小池 政臣



伊東市長
佃 弘巳



焼津市長
戸本 隆雄



伊豆市長
大城 伸彦



小山町長
長田 央



相良町長
杉山 年男



砂防統括監
本橋 和志

全国治水砂防協会通常総会開催される

5月18日に、(社)全国治水砂防協会の平成17年度(第69回)通常総会が、砂防会館で開催されました。

当日は、会員多数出席のもと、斉藤斗志二衆議院議員をはじめ多くの国会議員が来賓として出席されました。当支部からは副支部長の小室富士宮市長をはじめ24名の会員にご出席をいただきました。

総会は、綿貫会長による主催者挨拶の後、岩村国土交通事務次官の祝辞に続き、平成16年度の事業報告・収支決算報告、平成17年度事業計画(案)・収支予算(案)等が承認されました。

続いて、役員改選が行われ、新役員の選出、協会の功労者表彰が行われました。

お忙しい中、ご出席をいただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



綿貫会長の挨拶

参加市町村

三島市、富士宮市、伊東市、島田市、天竜市、伊豆市、御前崎市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、函南町、小山町、富士川町、由比町、榛原町、川根町、本川根町、中川根町、森町、春野町、水窪町、細江町、引佐町、三ヶ日町(24市町) 太字は会員本人の参加

市町村職員土砂災害対策研修会(東海ブロック)開催される

～ 本県の区域指定事例を発表! ～



岐阜市内で行われた研修会

5月11日に、第1回「市町村職員土砂災害対策研修会」(主催:全国治水砂防協会本部)が岐阜市内で開催されました。

この研修会は、東海4県の市町村の砂防及び防災関係職員や、消防団等の方々を対象に、土砂災害の現状とその対策及び危機管理に対する理解を深めていただくものです。

初めに、国土交通省砂防計画課大野砂防計画調整官から「砂防」の歩みから近年の土砂災害の実態について、静岡大学土屋教授からは記録的な件数に及んだ平成16年の土砂災害の状況について貴重な情報を交え講義していただきました。続いて、静岡県土木部砂防室太田

主査と静岡市河川課鈴木参事から、土砂災害防止法の区域指定の事例についての発表を行いました。

出席された約100名の皆さんは熱心に受講していました。

研修内容

1. 国土づくりと砂防
(国土交通省砂防部砂防計画課砂防計画調整官 大野宏之)
2. 平成16年の台風による記録的豪雨と地震により生じた土砂災害の特徴
(静岡大学農学部教授 土屋 智)
3. 土砂災害防止法の取組み事例について
(静岡県土木部砂防室主査 太田勝、静岡市建設局河川課参事兼統括主幹 鈴木利明)

県内の参加市町村

静岡市、沼津市、掛川市、袋井市、天竜市、菊川市、島田市、相良町、春野町、龍山村、佐久間町、水窪町、引佐町 (計22名)

平成17年度 土砂災害防止月間活動 6/1 ~ 30

みんなで防ごう土砂災害

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命・財産が失われています。平成16年は、集中豪雨、台風、新潟県中越地震などにより全国各地で悲惨な土砂災害が多発し、県内でも例年の約3倍にあたる99件の土砂災害が発生しました。

静岡県では、土砂災害の防止及び被害の軽減に関して県民の皆様の関心と認識を深めるため、6月の「土砂災害防止月間」にあわせて様々な活動を行いました。

主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の推進
- 「砂防フェスティバルしずおか」の開催
- 土砂災害に関する絵画・ポスター・作文の募集
- 土砂災害講習会の開催 など

1 住民と砂防ボランティアの参加 急傾斜地パトロールの実施

6月1日から17日にかけて、県内644箇所の急傾斜地崩壊危険区域において、土木事務所、地域防災局、市町村、警察、消防、地域住民や砂防ボランティア及びNPO法人静岡県地域づくり研究会と協働で、延べ881人を動員して、崩壊防止施設の異常の有無、がけ面の崩壊・亀裂の有無、排水路の機能状況などを点検しました。パトロールにより施設の破損や小規模の崩壊が確認された箇所については、早急に改善措置をとって参ります。



藤枝市蓮華寺池の現場

2 広報活動の推進 県民だよりに土砂災害防止月間特集記事の掲載

県民だより6月号で、土砂災害防止について特集が組まれました。4、5ページにカラー見開きで危険箇所や前兆現象についての説明、土砂災害防止に関する様々な取組みの紹介がされ、県下120万世帯に配布されました。



県民だより6月号



アゴラビジョン（静岡市葵区御幸町）

その他、月間中に実施する取組み等を、広く県民の皆様へPRするため、マスコミ等を通じて積極的に広報活動を実施し、新聞8紙延べ14回、テレビ6局延べ10回、ラジオ2局延べ2回で報道されたほか、市町村広報誌23誌に掲載され、静岡銀行大型映像表示装置「アゴラビジョン」や遠鉄バス車内情報発信板で放送されました。

3

台風22号(平成16年10月)での救助活動の熱海市4名

「土砂災害防止推進の集い(全国大会)」で表彰される

6月2日に、平成17年度「土砂災害防止推進の集い(全国大会)」が鹿児島市で開催され、熱海市の中田好保さん、中田公威さん、小松清雄さん、染谷真弘さんが「土砂災害防止功労者」として表彰されました。4人は昨年10月、伊豆半島に上陸した台風22号の豪雨で発生した熱海市伊豆山東谷地区のがけ崩れで、自らの危険を顧みず胸まで土砂に埋もれた86歳の女性を救出しました。



土砂災害防止功労者表彰式(鹿児島県文化センター)

4

「砂防フェスティバルしずおか」の開催

6月12日(日)に、「砂防フェスティバルしずおか」が静岡市葵区の葵スクエア・青葉シンボルロードで開催されました。

これは国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市が主催し、県内で行われている土砂災害対策をPRするイベントです。砂防関係のパネル展示、降雨体験装置などの実験装置の実演、砂防に関するクイズラリーなどを実施して、砂防事業の目的と最新の情報をお知らせしました。



メイン会場



静岡県の展示コーナーでは、森と水辺を育てる会の皆さんが作成した竹炭の配布をはじめ、土砂災害防止に関するパネルの展示、啓発グッズの配布などを行いました。

今年度は晴天の中、子供からお年寄りまで約5000人が会場を訪れ、興味深く砂防事業に触れてイベントを楽しんでいる様子でした。

【平成17年度】土砂災害防止啓発用品等の紹介コーナー



横断幕(伊豆市役所)



車貼付けマグネットシート



砂防フェスティバル会場配布しました



マスコット

パンソウコウ

土砂災害防止法の一部改正 ～市町村の義務が増えました～

～土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律の改正～

平成17年7月1日付けで、土砂災害防止法が一部改正されました。近年の豪雨災害においてお年寄り等の犠牲者が多かったことから、災害時要援護者の避難対策の充実が求められることとなります。

市町村は、警戒区域の指定があったときは、警戒避難体制の整備が義務付けられています。今回の改正により、土砂災害防止法第7条第2項に、市町村は、警戒区域内に高齢者等の特に防災上の配慮を有する者が利用する施設がある場合には、土砂災害に関する情報、予報及び警報の伝達方法を定めることが義務付けられました。

さらに第7条第3項において、市町村長は、警戒避難を確保する上で必要な事項を、印刷物の配布等により住民に周知することが義務付けられました。



総合流域防災事業の創設（平成17年度 新規事業）

<目的>

総合流域防災事業は、水害対策と土砂災害対策、ハード対策とソフト対策を一体的に実施し、地方の自主性・裁量性をより高めつつ、豪雨災害等に対し流域一体となった総合的な防災対策を推進することを目的として創設されました。

<内容>

個々の事業規模が小さい等から個別箇所ごとの予算管理を行う必要性が低い事業について、流域単位を原則として、包括的に水害・土砂災害対策の施設整備等（河川改修、砂防設備・地すべり防止施設・急傾斜地崩壊防止施設の整備、雪崩対策等）や、災害関連情報の提供等のソフト対策（情報基盤整備、砂防基礎調査等）を行う事業に対して補助されます。

また、県が行う浸水想定区域の指定に係る調査及び市町村が行うハザードマップ作成に係る調査（5年間に限る）、並びに堤防の質的強化対策を新たに補助対象にするとともに、情報基盤整備事業の内容を拡充し水位や流量等を予測・提供するシステムも補助対象となります。



静岡県内総合流域防災協議会開催される

6月10日に、初めての総合流域防災協議会が県庁で開催され、県内の狩野川、富士川、安倍川、大井川、菊川、天竜川の各圏域毎の6協議会が設立されました。

当日は、中部地方整備局からは、高橋地域河川調整官を始めとして、同局幹部、本県関係の5直轄事務所長、富士川圏域に関係して関東地方整備局の甲府河川国道事務所長が、県からは、松村河川砂防総室長、本橋砂防統括監、10土木事務所長、太田川ダム建設事務所長が出席し、協議会の設置と今後の運営方針などについて、積極的な議論が交わされました。

各圏域の協議会は、水害・土砂災害対策を一体的かつ効率的に実施するため、国及び県が情報共有、調整を行うこととしており、次回協議会は11月頃開催される予定です。

早めの避難に向けて

今年も梅雨や台風など、豪雨の季節がやって来ました。豪雨が予想される場合には、早めの避難がなによりも大切です。住民が土砂災害危険箇所を知り、市町が住民に対して、避難情報などを出す際の参考として活用していただくため、県砂防室では土砂災害危険箇所の周知や土砂災害危険度情報の配信を行っております。

土砂災害危険箇所の周知

ハザードマップを配布しています

土砂災害ハザードマップには、土砂災害危険箇所や避難所の情報に加え、土砂災害の種類や前兆現象についてのイラストを加えた解説や、雨の強さと降り方の解説などを追加し、「土砂災害がどこで、どのように起こるのか」をお知らせしております。



土砂災害危険箇所を県内ホームページに掲載しています

県内の危険箇所15,193箇所全ての位置情報は、インターネットで砂防室ホームページからも確認することができます。

砂防室ホームページアドレス

<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>

土砂災害危険箇所表示板の設置を進めています



土砂災害危険箇所表示板(絵と5ヶ国語(日・英・中・ポ・韓)で表示)



土砂災害危険度情報

県では、市町の警戒避難体制整備の支援情報として、平成14年度からインターネットを利用して、市町へ土砂災害の危険度情報を配信しています。これは、過去の災害実績から設定した土砂災害警戒避難基準雨量に基づき、土石流、がけ崩れに対する危険度を判定するものです。これから本格的な台風シーズンを迎えますので、**市町の担当者の方は降雨時には必ず確認するようにして下さい。**(アクセスにはIDとパスワードが必要です。詳しくは砂防室土砂災害対策スタッフへお問い合わせ下さい。)



インターネット配信画面

平成16年度

砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂防事業

やなぎさわ
柳沢砂防えん堤 (志太郡岡部町内谷地先)



土石流による災害を防ぐため、砂防えん堤を施工し、人家27戸および幼稚園、保育園の安全が図られた。

れんしょうじ さわ
蓮性寺沢砂防えん堤 (静岡市清水区谷津地先)



土石流による災害を防ぐため、砂防えん堤を施行し、人家5戸の安全が図られた。

うらかみがわ
浦上川砂防えん堤 (賀茂郡西伊豆町安里地先)



土石流による災害を防ぐため、砂防えん堤を施工し、人家69戸及び緊急輸送路(国道136号)の安全が図られた。

きんしきがわ
金敷川砂防えん堤 (田方郡函南町丹那地先)



土石流による災害を防ぐため、砂防えん堤を施工し、人家20戸の安全が図られた。

地すべり対策事業

なかびゅう
中日向 (浜松市龍山町大嶺地内)



地すべりによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家8戸及び(一)白倉西川線の安全が図られた。

急傾斜地崩壊対策事業

おやまや
小山家 (賀茂郡西伊豆町仁科地内)



がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家16戸及び仁科小学校、仁科中学校の安全が図られた。

せんず
千頭 (榛原郡本川根町千頭地内)



がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家15戸及び(主)川根寸又峡線、大井川鉄道の安全が図られた。

おおむら
大村 (浜松市春野町川上地内)



がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家10戸の安全が図られた。

平成16年度完成箇所一覧

砂防事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	期間	事業概要
浦上川	賀茂郡西伊豆町安良里	211	H13~H16	砂防えん堤工 H = 10.0m、L = 67.5m
清地川	静岡市葵区牛妻	141	H13~H16	砂防えん堤工 H = 10.5m、L = 39.5m(コンクリートスリット)
蓮性寺沢	静岡市清水区谷津町	188	H13~H16	砂防えん堤工 H = 13.0m、L = 59.8m
鍛冶沢	庵原郡由比町阿僧	200	H12~H16	砂防えん堤工 H = 14.5m、L = 34.0m
片倉沢	藤枝市助宗	201	H13~H16	砂防えん堤工 H = 8.5m、L = 38.0m
柳沢	志太郡岡部町内谷	119	H14~H16	砂防えん堤工 H = 10.0m、L = 56.0m
藍の沢	三島市佐野	167	H14~H16	砂防えん堤工 H = 7.5m、L = 61.0m(コンクリートスリット)
金敷川	田方郡函南町丹那	116	H14~H16	砂防えん堤工 H = 9.5m、L = 37.0m(鋼製スリット)
袖野布沢川	富士郡芝川町上袖野	143	H11~H16	砂防えん堤工 H = 9.0m、L = 62.7m(鋼製スリット)
嵐川	静岡市清水区大内	508	H9~H16	砂防えん堤工 H = 14.0m、L = 39.0m
大場川右支川	裾野市市の瀬	180	H13~H16	砂防えん堤工 H = 14.5m、L = 59.0m(コンクリートスリット)
深沢川	伊豆の国市菰山多田	307	H11~H16	砂防えん堤工 H = 14.5m、L = 82.0m
弓沢川	富士宮市阿幸	195	H13~H16	床固工 H = 2.1m、L = 22.0m
大和田川	静岡市駿河区大和田	90	H15~H16	砂防えん堤工 H = 7.5m、L = 37.0m

地すべり対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	期間	事業概要
西倉沢	庵原郡由比町西倉沢	489	H8~H16	横ボーリング工 L = 1,301m、杭工 N = 61本
仙戸	浜松市佐久間町大井	272	H7~H16	横ボーリング工 L = 407m、集水井工 N = 1基 集水ボーリング工 L = 5,315m
中日向	浜松市龍山町大嶺	259	H7~H16	横ボーリング工 L = 4,686m、水路工 L = 423m
子持坂	志太郡岡部町子持坂	162	H15~H16	横ボーリング工 L = 1,655m、杭工 N = 49本
丸子逆川	静岡市駿河区丸子	726	H15~H16	横ボーリング工 L = 2,249m、法枠工 4,881㎡ アンカー工 249本

急傾斜地崩壊対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	期間	事業概要
石部上の山	賀茂郡松崎町石部	356.6	H11~H16	擁壁工 L = 540.5m
小山家	賀茂郡西伊豆町仁科	256.0	H14~H16	擁壁工 L = 425.5m
守木No.2	伊豆の国市守木	305.6	H10~H16	擁壁工 L = 383.7m
油山下	静岡市油山	250.5	H13~H16	擁壁工 L = 339.8m
蔵田天神原	藤枝市蔵田	165.0	H13~H16	擁壁工 L = 407.6m
石脇山崎	焼津市石脇	173.0	H13~H16	擁壁工 L = 222.6m
鍋島	島田市身成	241.4	H13~H16	擁壁工 L = 419.8m
川原町	志太郡岡部町岡部	77.4	H14~H16	擁壁工 L = 180.0m、法枠工 A = 464㎡
地名竹ノ花	榛原郡中川根町地名	158.9	H14~H16	擁壁工 L = 438.1m
池田	菊川市古谷	101.8	H14~H16	擁壁工 L = 319.0m
瑞泉ヶ谷	菊川市下平川	148.0	H14~H16	擁壁工 L = 399.7m
栗原	菊川市中内田	121.0	H14~H16	擁壁工 L = 382.3m
只来	浜松市上只来	230.0	H12~H16	擁壁工 L = 246.0m、法枠工 A = 1141.1㎡
殿島	浜松市佐久間町矢島	125.3	H14~H16	擁壁工 L = 147.0m
柱戸	浜松市水窪町地頭方	216.2	H12~H16	擁壁工 L = 188.7m、法枠工 A = 501㎡
大村	浜松市春野町川上	185.2	H13~H16	擁壁工 L = 243.6m

静岡県都市山麓グリーンベルト 子供達と作業会を実施

4月17日と24日に、都市山麓グリーンベルト（砂防樹林帯）の整備を進めている清水大内地区で、住民・ボランティアとの協働で竹の伐採、たけのこ掘りを行いました。

これは、竹林拡大の元を絶つために企画されたもので、「森と水辺を育てる会」（ボランティア団体）が中心となり、森林保護ボランティアグループ（S-GIT）に加え、地元の高部小、高部東小、清水第六中学校父兄、子供、そして、行政関係者も加わり、これまでで最も多い総勢257名が参加されました。

大内公園に各自、鍬やスコップを持ち寄って集合し、「森と水辺を育てる会」代表の大木氏からの作業についての講習のあと、作業場である天白沢、杉谷津沢に向かいました。なかなか出てこないたけのこに子供も大人も悪戦苦闘しながらも、取れた時には大きな歓声があがっていました。やはり、子供は自然の中で遊んでいる姿が一番美しく、また、大人も子供に良い所を見せようと頑張っている姿はとても新鮮なものでした。4月は雨が少なく、たけのこが取れるか心配しましたが、皆さん持ちきれないほどのたけのこ持って山を下り、今回のたけのこ掘りは無事終了しました。

荒れてしまった里山が、子供たちが虫や山菜採りに入れる山に戻り始めていると感じました。



たけのこを抱える子供たち

環富士山火山防災連絡会の結成



富士吉田市内会議室

4月11日に、富士山周辺の静岡県側9市町と山梨県側8市町村による「環富士山火山防災連絡会」の設立総会が富士吉田市で開催されました。各市町村の首長や防災担当者らが出席し、防災対策の情報交換を行うなど今年度の事業計画を策定し、今年10月を目処に「災害時相互応援協定」を締結することを決めました。県境を超えた市町村が火山災害に備えた連絡会を発足させるのは全国初のことです。会長には、富士吉田市長が選任され、「県境を超えた連携は、歴史的にも意義が大きい。災害はいつ起こるか分らず、ふもとの住民が安心できる環境を一日も早く整えたい。」と話していました。

平成17年度（社）砂防学会通常総会並びに研究発表会が開催される

平成17年5月25～27日に、名古屋市内で平成17年度（社）砂防学会通常総会並びに研究発表会が開催されました。通常総会では、平成17年度砂防学会賞の授与が行われ、論文賞は「RBFネットワークを用いた土砂災害警戒避難基準雨量の設定について」の研究をした山口大学の古川教授が受賞されました。研究発表会は、25～26日の2日間にわたって4会場に分かれて行われ、27日は、土岐コースと瀬戸コースに分かれて、砂防事業・治山事業の現地見学会が行われました。



吉田川（瀬戸市）

砂防指定地等監視員講習会の開催

5月26日に、県庁で砂防指定地等監視員を対象とした防災講習会が開催されました。

県が委嘱している監視員の方々は県下で35名おり、日頃から各地域の砂防指定地等の監視に努めていただいています。

本講習会は2年に1度、監視員の防災知識の向上を目指して開催しているものであり、指定区域において制限される行為や大雨時における警戒避難等について講習を受けていただきました。

また、日頃の監視活動における意見等の交換も熱心に行われました。今後も、地域の指定地の保全と安心・安全のために、監視をよろしく願いいたします。

土砂災害避難訓練の実施 静岡市葵区口坂本地区

6月22日に、静岡市葵区口坂本地区において土石流を想定した土砂災害避難訓練が実施されました。午後1時30分に土石流センサーが模擬切断され、サイレンや監視小屋の赤色灯が作動し、同報無線子局及び戸別受信機により住民に情報が伝えられ、住民は直ちに避難を開始し、30分後の午後2時には全員の避難が確認されました。また避難場所では、防災資機材及び地域防災無線の取り扱い訓練が行なわれました。

反省会では、訓練の反省や今後の課題が活発に議論され、地元住民の土砂災害に対する危機意識が非常に高いと感じました。



訓練の様子

石碑

をたずねて

vol.5

昭和33年9月26日、伊豆半島を横断した狩野川台風は、狩野川上流域に驚異的な豪雨をもたらし、湯ヶ島で日雨量694mm、前日からの累計雨量749mmを記録しました。この台風は狩野川上流域から中流域で、死者853名という未曾有の被害をもたらし、翌年から国直轄砂防事業が開始されました。その後、各地に各種の石碑が建立され、後世に伝えられています。今回は、その中からいくつかをご紹介します。



狩野川台風洪水位



- 場所...伊豆の国市白山堂
- 建立日...不明



狩野のみどり子



- 場所...伊豆の国市三福(大仁小学校内)
- 建立日...昭和63年頃、大仁小学校、中学校の殉難生徒47名の冥福を祈って建てられ、現在のものは3代目

狩野川台風殉難者慰霊碑



- 場所...伊豆市熊坂(狩野川記念公園内)
- 建立日...昭和53年9月26日

狩野川台風復興記念碑



- 場所...伊豆市熊坂(狩野川記念公園内)
- 建立日...昭和40年11月

土木事務所企画担当者紹介

土木事務所	企画TEL	担当者	抱負
下田	(0558) 24-2112	せきの 関野 ゆうじ 勇治	多くの危険箇所を抱える下田土木事務所。土砂災害をなくすことは不可能ですが、ハード対策×ソフト対策＝減災となるようがんばります。「知る努力知らせる努力」減災に向け「知らせる努力」に力を注ぎます。
熱海	(0557) 82-9171	さいとう 齋藤 まさあき 昌昭	昨年の台風22号による管内の土砂災害発生を教訓に、少しでも土砂災害防止の推進が図れるよう、管内の市と協力しながら、対策施設の整備やソフト対策の執行に努めていきたいと思ひます。
沼津	(055) 920-2211	しばた 柴田 はじめ 肇	土砂崩れによる被害の軽減を目指して、土砂災害警戒区域の指定等の各種施策を市町村の方々と連携して進めていきたいと思ひます。
		ふじわら 藤原 たけし 健史	関係機関と連携し、砂防事業の円滑な執行に努め、土砂災害防止に貢献できるようにがんばります。
富士	(0545) 65-2794	ももせ 百瀬 ひさし 尚至	日本一の富士山とそこに住む人々を、土砂災害から守るためにがんばります。
		まつなが 松永 あきひろ 章宏	土砂災害から地域住民を守るため、土砂災害警戒区域等の指定に向け頑張っていきたいと思ひます。

土木事務所	企画TEL	担当者	抱負
静岡	(054) 286-9321	いしい 石井 さとし 哲	補助事業と大内グリーンベルトの担当です。土砂災害の起こらないことを心から願っております。
		すずき 鈴木 てるあき 輝昭	県単事業と土砂災害防止法の担当です。土砂災害の被害を少なくし、安全で安心な暮らしができるよう頑張っていきたいと思ひます。
島田	(0547) 37-5272	もちづき 望月 としひろ 敏弘	異常気象が続く今日ですが、地域の方々と一緒に、快進で安心して暮らせるまちづくりを目指していきたいと思います。
御前崎	(0548) 63-3214	かわはら 河原 ゆうき 有希	1市3町を担当しています。地域住民を土砂災害から守り、安心・安全で暮らせる街づくりをしたいです。
袋井	(0538) 42-3216	おおし 大箸 ひろし 寛	砂防事業については不慣れな点が多いですが、関係機関と連絡を密にし円滑な事業推進に努めます。
天竜	(0539) 26-2496	みうら 三浦 よういち 洋一	砂防事業を担当します。初めての砂防担当で不慣れな点もありますが、頑張っていきたいと思ひます。
		はやかわ 早川 こういち 光一	地すべり、急傾斜、ソフト事業を担当します。管内は危険箇所が多いので、各市町村の方々と連携をよくして、土砂災害の被害軽減に努めたいです。
浜松	(053) 458-7266	とみた 富田 あつし 淳志	土砂災害が多発している今日この頃ですが、地域の方々と協力し、土砂災害に備えていきたいと思います。

市町村の皆さんからの砂防事業等に関するご意見や土砂災害情報等をお寄せ下さい。

募集・案内コーナー

土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝える絵画やポスター、作文を募集します。優秀作品には国、県の表彰のほか、応募者には参加賞も用意しております。是非ご応募下さい。

応募期間：6月1日～9月15日まで
応募先：静岡県土木部砂防室 TEL 054(221)3042



2007砂防カレンダー

「現場周辺の山・谷・川」写真コンテスト

砂防関係工事（砂防、地すべり、がけ崩れ対策など）現場やその周辺の仕事、暮らし、余暇活動、山、溪流、花、動物等をテーマに2007年砂防カレンダーの写真を募集しています。

作品募集に関する詳しい問い合わせ先は・・・
NPO法人砂防広報センター TEL (03)3459-1591
ホームページアドレス <http://www.sabopc.or.jp>



2005火山砂防フォーラム 火山を知り火山と共に生きる

～広域連携を踏まえた火山防災～

火山地域の自治体や火山防災担当者が一堂に会し、火山防災における情報等を共有し、安全な地域づくりに寄与する目的で毎年行われています。

15回目の今年は、富士山周辺における火山防災への取組、広域連携を踏まえた火山防災の今後について皆様と共に考えていこうとするもので、富士宮市で開催されます。皆様の積極的な参加をお願いします。

会期：平成17年10月13日～14日
会場：富士宮市民文化会館
10/13 フォーラム
10/14 富士山周辺の現場見学

主催：火山砂防フォーラム委員会
詳しい情報は・・・
火山砂防フォーラムホームページをご覧ください。
<http://www.ics-inc.co.jp/kazan/>



平成17年 7-9月

砂防関係の

主な行事

8月21日 (県民の日)
25～27日
30～9月1日
9月1日

宝さがし(長泉町桃沢) 沼津土木事務所)
土砂災害防止啓発パネルの展示(静岡土木事務所)
市町村長等砂防事業視察(福岡県)
日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会(長崎市)
防災の日

【表紙写真】



夏富士 朝霧高原
片岡 初枝さん(富士市)

砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記まで問合せ下さい。

編集後記

土砂災害防止月間中に行われた急傾斜地パトロールに参加しました。山を背に暮らしている人の多さに驚き、土砂災害対策の重要さと難しさを改めて実感しました。

情報提供、執筆を関係各位にお願いしております。是非ご協力をいただきとともに砂防だよりをご愛読いただきますようお願い申し上げます。

砂防だよりが砂防室ホームページでも見られるようになりました。砂防室HPアドレス：<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>